



クサレダマ (サクミノソウ科)

クサレダマは『腐れ玉』ではありません。マメ科のレダマに似ているが、草本であるため、『草連玉』の名前になったものです。

アジア東部の温帯から亜寒帯まで広く分布し、日本では北海道から九州まで、山地、原野の湿地に自生しています。

芝谷地では夏の盛りの七月末から八月に、一メートルもある茎の頂に小さい黄色の五弁の花がたくさん開きます。

直立した長い茎に葉も細くすっきりしており、それが風に揺れると涼し気で風情があります。

文・菅原キサ写真・山田政一

編集後記

□第一回のアテネオリンピックから百年目の今年、アトランタオリンピックが開催されました。スポーツの祭典と言われながらも、あまりにも勝負を重視しているように思われました。本当にそれでいいのでしょうか。何事も、勝負よりフェアプレイの精神が一番大切なのではないか、と私は思っています。(ま)

□オリンピックでの日本選手の活躍、結果が前評判と違うのが目立ちました。世界との差が縮まったことも挙げられますが、事前の報道で「必ず勝つ」、「勝てない」と決めつけたのが多かったように思います。期待するのと予想は違います。一生懸命頑張った選手を見ていて、期待と予想がはつきりしない表現は、広報では避けなければ、と感じました。(咲)

□本命が伏兵に敗れることが多かったといわれる「アトランタ」。冗談じゃありませんよね。見たでしょう、必死に戦う選手たちの姿。ペーリーもクリステイも、サンチェスも伊達もみんな、見ていて鳥肌が立つほどスゴかった。あんな最高の試合に本命・伏兵という字句は要りません。結果報道には表れない感動を、寝不足の果てに知りました。(ゆ)

▶ 広報おおだて 平成8年8月16日号(No659)

発行/大館市 〒017秋田県大館市字中城20番地

☎ 0186-49-3111

編集/総務部総務課広報広聴係(内線258)

▶ 広報おおだては再生紙を使用しています。